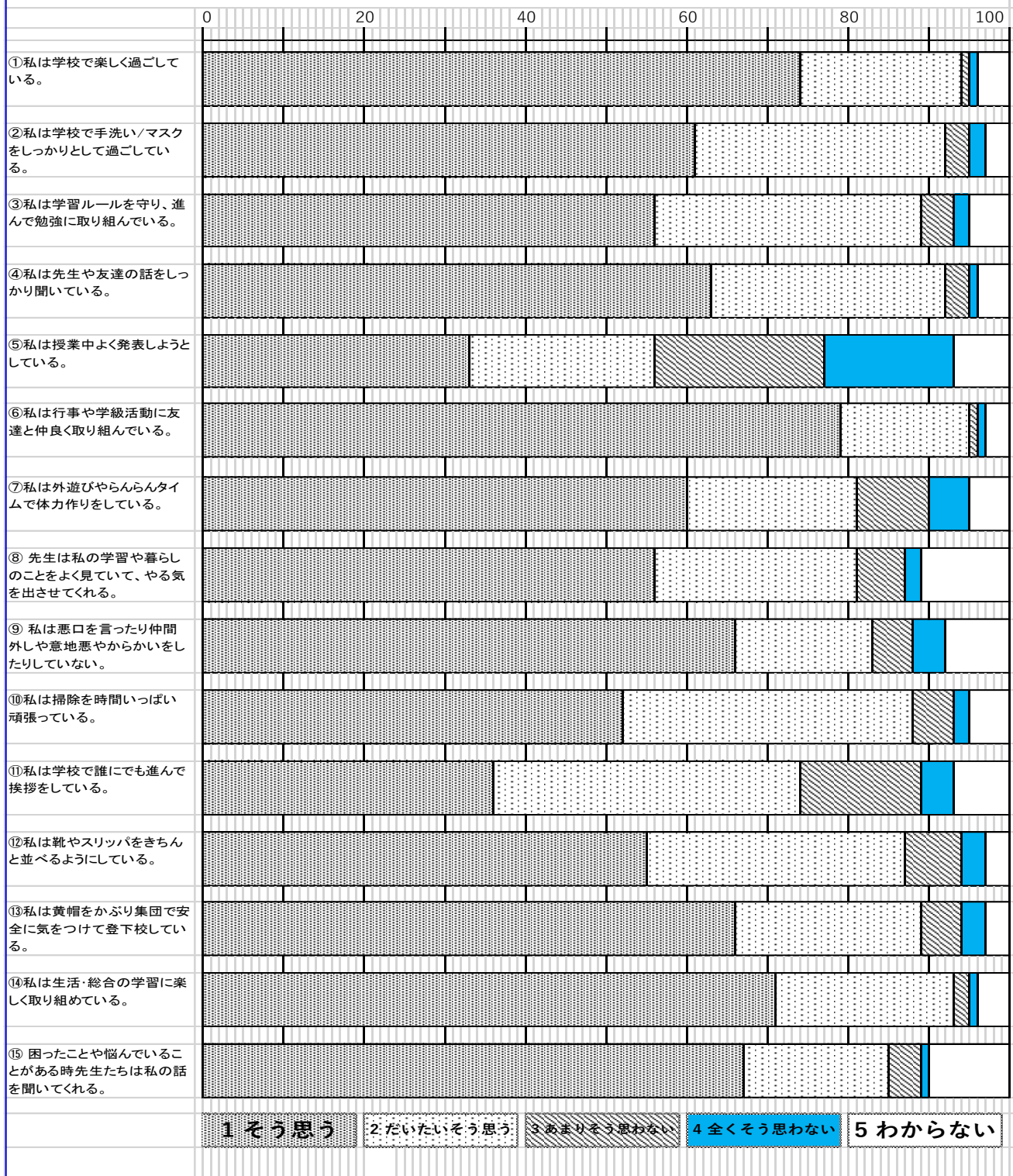


児童アンケート結果



子どもたちのアンケートは、学年によって傾向が少しずつ違いますが、ここでは全体のグラフを見ながら考察したいと思います。

多くの項目で「強く思う」「だいたい思う」が80%以上で、中には90%を超える項目もあります。しかし⑤「私は授業中よく発表しようとしている」の項目は他に比べて低い値となっています。子どもたちが「発表したいな」と思えるような課題の与え方ができていないのではないかと考えます。教師の授業中の発問の仕方に課題があると考えられます。授業改善に一層努力が必要です。コロナ禍で発表する機会が大きく減ったことも原因の一つとも考えられます。自分の考えをしっかり持って表現できる学習になるように工夫を重ねていきたいと思っています。

⑧の「先生は、私の学習や暮らしのことをよく見ていて、やる気を出させてくれる」の項目は他の項目に比べて肯定的な数値が低い傾向です。教師自身がもっと子どもたちの学習や暮らしの様子にしっかり目を向けて、その子のやる気を出させるような寄り添いが必要なのだと思います。

昨年度も同じような傾向でしたが、低い値を示しているのが⑪「私は誰にでも進んで挨拶をしている」の項目でした。よく挨拶ができる印象のある南小ですが、実は特定の人しかできていないのかもしれませんが。また、「誰にでも」という文言が気になって控えめな選択肢を選んだのかもしれませんが。今後も児童会等の挨拶運動等に取り組んでいきたいと思っています。